

広  
報

# さんのへ

Sannohe

12  
H29.11.27 No. 676



— 自分で作った絵本で自然と笑顔に —

7月に開催されたオリジナル絵本づくりを体験した「世界にひとつだけの絵本づくり」の表彰式が11月11日に町民体育館で行われました。



ロスオリンピック自転車スプリントで銅メダル獲得、坂本勉選手(昭和59年)



弓道のけいこ(昭和14年)



商業科の校内電卓大会

昭和2年に校舎が併置された旧三戸小学校校舎

# 三戸高校 創立90周年



創立90周年 「想いを受け継ぎ未来へ」  
～奏でよう 新たなる 調べ～

90周年を盛り上げるため2年生が作成したモザイクアート

## 誇りを胸に、さらなる前進を



全国大会にも出場している現在の放送局



向山満先生が率いた自然科学部

集団行動コンテスト (昭和58年)

## 90 年のあゆみ

- ・大正 15 年 12 月 24 日  
2 年制実科高等女学校設置を認可申請
- ・昭和 2 年 2 月 28 日  
三戸町立実科高等女学校の設置が認可され、三戸小学校に併置
- ・昭和 2 年 4 月 11 日  
第 1 回入学式(定員 100 名)
- ・昭和 15 年 11 月 11 日  
校歌制定
- ・昭和 18 年 4 月 1 日  
学制改革で「三戸町立高等女学校」と改称
- ・昭和 23 年 4 月 1 日  
青森県三戸高等学校と改称
- ・昭和 26 年 6 月 20 日  
定時制課程併置
- ・昭和 27 年 4 月 1 日  
定時制田子分校が田子中学校に併置
- ・昭和 28 年 3 月 15 日  
県教育委員会告示により青森県立三戸高等学校発足
- ・昭和 28 年 3 月 22 日  
校舎落成式挙行
- ・昭和 28 年 10 月 1 日  
現在の校歌制定
- ・昭和 32 年 10 月 11 日  
創立 30 周年記念式典挙行
- ・昭和 37 年 4 月 1 日  
全日制課程に商業科を設置(2 学級)
- ・昭和 37 年 12 月 8 日  
商業科校舎の新築落成式典
- ・昭和 38 年 12 月 18 日  
寄宿舎新築落成
- ・昭和 42 年 11 月 22 日  
創立 40 周年記念式典
- ・昭和 42 年 12 月 18 日  
第 1 体育館および付属建物落成
- ・昭和 45 年 4 月 26 日  
生徒会館(清流会館)落成

↓ 5 ページへ続く

# 伝統を胸にさらなる飛躍誓う

三戸高等学校は、昭和 2 年に三戸町立実科高等女学校として開校しました。数々の変化を遂げながら歩み続け、これまでに 1 万 3 千人を超える卒業生を送り出しています。そして、ことしめでたく創立 90 周年を迎えました。

これを記念し、11 月 11 日に学校講堂で記念式典が開催されました。生徒 151 人をはじめ、関係者ら約 250 人が出席し、これまでの歴史に思いをめぐらせ、伝統を称えました。

式典では、歴代校長や P T A 会長、後援会会長や部活動を指導してきた地域の人びとへ感謝状や表彰状が贈呈されました。生徒たちは、これまでにないほど校歌を大きな声で高らかに歌



大きな声で校歌を歌い、90周年を祝いました

い、90 周年を祝いました。歌声には、これから大きく成長するという強い決意が示されていました。

## 地域の皆さんの見守りが 生徒の力につながる

三戸高等学校  
三上 幾子 校長

地域の皆さまにご協力いただき、90 周年記念式典を無事に終えることができました。

生徒も教員も少ない人数で、よく頑張りました。生徒たちは、90 年という歴史の重みを実感し、式に臨めました。

あらためて、三戸高校は地域に温かく見守られている学校だと強く感じています。生徒たちにも「応援してくれる人がたくさんいる」ということが伝わり、自信につながったはずです。

皆さんが思っている以上に、三戸町で可能性を大きく伸ばす機会は大いにあります。今後も生徒たちが、地域の人や歴史、自然と関わりながら学び、大きく成長できるよう、教員一体となって取り組んでまいります。そうしていつか、町の皆さまに恩返しできる人になるよう、ふるさとへの思いも育てていきたいです。

これからも、町の皆さまのご協力をお願いいたします。

# 地域とともに歩んできた学校

## 始まりは町立の女学校

昭和2年、三戸町立実科高等学校が、三戸小学校に併置されました。これが、三戸高等学校の始まりです。

始めは定員100名でしたが、次第に人数も増え、教育内容も充実していくのに伴い、校舎の建設が決まります。新校舎をどこに建てるかについて意見が割れ、当時の町は大さわぎになったそうです。それほどまでに、町の人は三戸高校に関心を持っていたのでしょう。町は、財政的に厳しかったものの「子どもたちに充実した教育を



実科高等女学校の第1回卒業生（昭和3年）

受ける場を確保したい。それこそが、将来の三戸のためになる」という強い思いのもと、新校舎を現在の白坂ノ上に建設します。そうして、目指してきた県立移管も達成しました。

大きくそびえたつ名久井岳、町を流れる熊原川、城山などの豊かな自然を臨む校舎に、生徒たちは今日も元気に通っています。

## 活躍目覚ましい商業科

三戸高校といえば、商業科の活躍を思い出す人も多はずです。

商業科は、昭和37年4月に誕生しました。3千人以上の生徒が学び、実務的な資格を取得した他、簿記や電卓の全国大会で好成績を修めました。

校内では、珠算競技大会や電卓競技大会などを開催し、生徒たちは友人と競い合い、励まし合いながら能力を磨きました。

また、生徒たちがまちへ飛び出し、商店街の人びとに取材をして、各商店の紹介ホームページや、商店街のマップを作成するなど、地域の人びととふれあひながら多く

のことを体験。地域とのつながりの大切さも学びました。

さまざまな活躍を見せた商業科ですが、平成20年8月、商業科廃止が決定されました。有志の皆さんが反対運動を展開しましたが、願いは届かず、平成26年3月、商業科は惜しまれながら閉科となりました。

しかし「コース制として商業を学ぶ環境を残したい」と、県の教育委員会に強く訴え、現在の「ビジネス・マネジメントコース」が平成25年4月に誕生したのでした。



商業ですばらしい活躍を見せた生徒たち

## 新たなコースの挑戦

商業科の歴史を引き継いだ「ビジネス・マネジメントコース(BMC)」では、経営者としての視点や資質を身に付けるため、ビジネスを実践的に学びます。

外部から講師を招き、実際に自分たちで起業して店を出し、チャレンジ精神やコミュニケーション能力を磨いています。

生徒たちが一から出店計画を作り、商品を全国各地の業者に交渉して仕入れられます。そして、町の空き店舗を活用し、チャレンジショップを開いています。

業者との交渉や町の人への販売では、思うようにいかずに苦戦することもありますが。しかし、その経験は生徒たちにとって、とても大きな力になっています。特に、販売時の町の人とのふれあひは、学校の中では体験できない、町を知るとてもよい機会です。町の人も、このチャレンジショップを楽しみにしています。

## 三高生が町を元気に

町の一大行事である「さんのへ秋まつり」に、高校として山車を

- ・昭和 49 年 7 月 20 日  
新校舎 A 棟完成移転
- ・昭和 51 年 5 月 4 日  
新校舎 B 棟完成移転
- ・昭和 51 年 12 月 3 日  
テニスコート (3 面) 移転  
整備完成
- ・昭和 52 年 4 月 26 日  
野球場・陸上競技場拡張  
整備完成
- ・昭和 52 年 10 月 31 日  
弓道場落成
- ・昭和 52 年 11 月 10 日  
創立 50 周年記念式典
- ・昭和 53 年 4 月 1 日  
田子分校が県立田子高等  
学校へ昇格独立
- ・昭和 53 年 8 月 15 日  
第 2 体育館新築落成
- ・昭和 56 年 4 月 8 日  
高等学校学習習熟度別指導  
研究校として文部省より指  
定 (3 年間)
- ・昭和 57 年 4 月 1 日  
全日制課程商業科第 1 学年  
1 学級減 (普通科 4・商業科 1)
- ・昭和 58 年 4 月 1 日  
全日制課程商業科第 1 学年  
2 学級に復す (普通科 4・  
商業科 2)
- ・昭和 61 年 2 月 14 日  
定時制課程閉校記念式典
- ・昭和 61 年 3 月 31 日  
定時制課程閉校
- ・昭和 62 年 10 月 19 日  
陸上競技場完成
- ・昭和 62 年 11 月 10 日  
創立 60 周年記念式典
- ・昭和 64 年 1 月 1 日  
校長住宅新築落成
- ・平成 3 年 4 月 1 日  
商業科 1 学級減 (普通科 4・  
商業科 1)
- ・平成 9 年 3 月 20 日  
柔剣道場新築
- ・平成 9 年 4 月 1 日  
普通科 1 学年 1 学級減  
(普通科 3・商業科 1)

↓ 7 ページへ続く



ビジネス・マネジメントコースのチャレンジショップ



最優秀賞を受賞した秋まつり (平成 22 年)



小学生の勉強を指導する寺子屋

製作し、平成 11 年から平成 22 年まで参加したことは、町を大いに活気付けました。

さまざま課題もありましたが、町のために参加することが生徒のためにもなる」と、先生や保護者も一緒にになって、山車作りに取り組みま

した。山車の製作には、町の人の手厚い協力と温かい応援がありました。

その支援のおかげで、生徒たちは仲間と熱心に準備に取り組みました。みんな心には、熱いやる気を持っていました。

そして迎えた秋まつり当日。学校が丸丸となって作った山車を引いて町を歩くと、多くの人の笑顔と拍手がありました。「頑張ったよかったです」と、生徒たちに達成感がにじみました。

山車の製作も年々力を付けて、

最優秀賞を受賞するという快挙も達成。現在は、まつり中日のパレードに参加してよさこいを披露し、町を盛り上げています。

他にも、清掃ボランティアや町内の小中学生との交流などをおして、三高生は地域と関わり続け、活気を与えています。

# 歴史を受け継いでいく生徒たち

ことしの春から三戸高校では、90周年のコンセプトワード「90周年 想いを受け継ぎ未来へ～奏でよう新たな調べ～」を掲げ、生徒たちは学校生活を送ってきました。

2年生は、学校のシンボルである桜の木を、大型のモザイクアート（縦約6.2メートル、横約8.9メートル、折り紙を約25万枚使用）で作成し、団結力をより高めました。



90周年もPRしたさんのへ秋まつり



高総体で90周年の誇りを胸に行進



学校前にコンセプトワードを掲示



## 90周年の年を率いてきた生徒会長 境沢 裕平さん（3年生）

入学当初から「90周年の最高学年となる」ということを、先生に言われ続けてきましたが、1、2年生の時は実感があまりありませんでした。

しかし、3年生となり、式典に向けて準備を進めていくうちに、90年という歴史は偉大なことだと感じるようになりました。

三戸高校は少人数ですが、同級生をはじめ、先輩や後輩とも仲良くなって、全校生徒のつながりが深く、充実した学校生活を送れます。

将来は三戸町に戻ってきて、この町に貢献したいと思っています。

モザイクアートの作成に奮闘

## 原 沙斗美さん（2年生）

モザイクアートは、想像以上に地道な作業で時間がかかり、本当にできるのかと不安でしたが、みんなで協力して完成させることができました。

飾られた絵を見た時に、桜の花がきれいに咲いていて、みんなで「おお～」と感動の声を上げて完成を喜びました。とても達成感がありました。

三戸高校での毎日が本当に楽しいです。もっと多くの人が三戸高校に入ってくれるようになってほしい。歴史がこれからも続いていくように、頑張りたいです。



## 三戸高校のオリジナルフレーム切手が登場

90周年を記念し、オリジナルフレーム切手（82円切手が10枚付き）が三戸郵便局の企画で作成されました。

昭和3年に行われた実科女学校卒業式をはじめ、コウモリをはじめとする鳥類などの研究で有名な故・向山満先生が率いた自然科学部、さんのへ秋まつりの写真などが切手になり、長い歴史を振り返ることができます。

■販売場所 三戸町をはじめとする三戸郡と八戸市の郵便局

■価格 1,300円（税込み）



作成を提案した  
三戸郵便局の  
橋本正俊局長



- ・平成 9 年 10 月 11 日  
創立 70 周年記念式典
- ・平成 11 年 9 月 13 日  
さんのへ秋まつり初参加
- ・平成 13 年 4 月 1 日  
普通科 1 学級減  
(普通科 2・商業科 1)
- ・平成 14 年 10 月 2 日  
オーストラリアタムワース  
高等学校と姉妹校提携
- ・平成 18 年 4 月 7 日  
1 クラス 35 名定員に
- ・平成 19 年 11 月 8 日  
創立 80 周年記念事業運動  
部部室完成
- ・平成 19 年 11 月 10 日  
創立 80 周年記念式典
- ・平成 23 年 4 月 20 日  
第一体育館取り壊し
- ・平成 23 年 8 月 2 日  
全国高校珠算・電卓競技  
大会電卓の部 個人総合  
競技優勝
- ・平成 24 年 4 月 1 日  
商業科募集停止(普通科 2)
- ・平成 25 年 4 月 1 日  
現在のコース制へ移行
- ・平成 26 年 2 月 28 日  
商業科閉科記念式典
- ・平成 26 年 3 月 31 日  
商業科閉科
- ・平成 29 年 7 月 13 日  
清流会館空調設備工事
- ・平成 29 年 11 月 11 日  
創立 90 周年記念式典

## 多くの人に見守られ

三戸高校を支える人は、地域にたくさんいます。



創立 90 周年記念事業実行委員会会長  
工藤 忠善 さん

90 周年記念事業のために、多くの人に協力してもらいました。それぞれが高校のためにと、責任を持って役割を果たしてくれました。

現在は、昔よりも全校生徒は少ないですが、生徒は先生と信頼関係を築き、熱心な指導を受けられていると思います。

今後も三戸高校のことを地域ぐるみで考え、応援していけたらと思います。

同窓会会長

日ノ澤 昇一 さん

私はこの高校で、生徒会活動や部活動などに、自主的に考えて取り組むことができた。厳しい中にも自由がありましたね。

学校生活で積極性や前向き志向が身に付き、それが人生の基礎になったように思います。

これからも「教育の町三戸」に、地域の子どもたちが安心して通い続けられる高校を残していけるように、応援し続けます。



第 25 代 P T A 会長

関根 孝夫 さん

私が通っていたころは、人数も多く、何をしても元気がありました。高校生活では、人との付き合い方を学び、社会に出てからとても役立ちました。

子どもたちが三戸高校に通っていた時は、P T A 会長を務めました。生徒が楽しく通える学校を目指し、親同士で協力して活動したのも、いい思い出です。

三戸高校に通った皆さんには、長い歴史ある高校で学んだことを誇りに思ってもらいたい。

これからも、地域と歩み続ける三戸高校  
—地域の見守りが生徒の成長につながる—

# 住民のチカラ

## ～ 蛇沼地区の取り組み ～

町が活性化するために、住民のチカラは必要不可欠なものです。

蛇沼地区には、積極的に活動する「蛇沼集落協定」と「蛇沼地区環境資源保全隊」という2つの活動団体があります。それぞれ、どのような活動をしているのでしょうか。

### その1

#### 蛇沼集落協定

蛇沼集落協定（岩間雅晴代表）は、地域の農家で作られた20人の団体です。

国の制度である「中山間直接支払制度」を活用して活動しています。

#### 格納庫を建設

共同機械のトラクター、畦塗<sup>うね</sup>り



建設した共同機械の格納庫

機、バックホー、畦立<sup>うね</sup>て機などの格納庫を業者に頼らずに、メンバーが協力して約5カ月間かけて、昨年建設しました。

岩間雅晴代表（67歳）は「農繁期の合間を縫って、みんなで協力して完成させました。元大工などの人材もそろっており、声を掛け合えば協力してくれる。そして、何よりもみんな楽しんで作業しました」と話しました。

#### 魚類の保護活動

ニジマスの養殖にも取り組んでいます。

養殖して約3年経つと、約50～60センチメートル程に大きく成長します。成長したニジマスは、1月に塩マスにし、冬の動物性たんぱく質として地域住民に販売します。



養殖したニジマスの炭火焼き

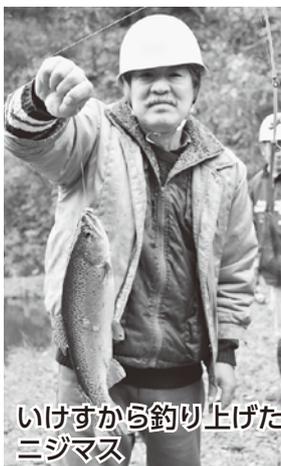
#### 中山間直接支払制度を

#### 活用している組織は？

三戸町では、貝守集落、中村集落など31の集落で活用しています。ドローンやラジコンヘリを使用する薬剤散布や花壇の整備事業に活用しています。



ニジマスを養殖するいけす



いけすから釣り上げたニジマス



整備されたビオトープ

## その2

### 蛇沼地区 環境資源保全隊

蛇沼地区環境資源保全隊（岩間雅晴代表）は農家を中心とする26人の団体です。

国の制度「多面的機能支払交付金制度」を活用して活動しています。

#### 景観形成活動

農用地・水路・農道・景観形成活動、水質保全活動などの共同活動を積極的に行っています。

植栽しているカキツバタの刈り取り、サルビアの刈り取り作業などを実施しています。

#### 水質保全活動

農業用雑用水、井戸タンクの清掃活動を行っています。

井戸タンクの水は、集落自慢の宝だといえます。



井戸タンクの清掃作業

### 不在村地主との

#### 連絡体制の整備

不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査、意見交換、ワークショップ交流会の開催を実施しました。

全国的に農家の担い手不足、耕作放棄地の増加が問題となっ



農地の地主と担い手の意見交換会

やまびこ会館で行われた意見交換会で、担い手である岩間雅晴さんと井畑昭治さんは「耕作放棄地になるのはもったいないし、田んぼが無くなっていくのは淋しいことです。農作業をできるうちは頑張っていきたい」と話しました。

岩間代表は「皆さんの協力が一番の力です。どの集落も高齢者が6、8割で、各作業や施設などの維持管理をするのは大変です。地域の協力を得て、微力ながらも、地域・町のために活動を続けていけたら」と今後の協力を呼びかけました。

10月11日から12日には、東京で多面的機能支払交付金事例研究会が行われ、道尻増治さんが青森県の代表として「活動を通じた地域農業の振興」というテーマでパネルディスカッションを行い、地域の人が協力して町や地区をよくしようとして取り組んでいることを発表してきました。



蛇沼地区として  
青森県代表として  
発表する道尻さん

#### 多面的機能支払交付金制度を 活用している組織は？

三戸町では、泉山りんごの会、上目時環境保全会、杉沢地区資源保全会、泉地区資源保全会、下田地区資源保全会、蛇沼地区環境資源保全隊の6つの活動組織で多面的機能支払交付金制度を活用しています。

## 戦没者などのご遺族の皆さまへ

第十回特別弔慰金の請求期限が近づいています

**平成30年4月2日までに、ご請求ください**

請求期限を過ぎると、第十回特別弔慰金を受ける権利がなくなりますので、お早めにご請求ください。未請求の人には、青森県健康福祉政策課より案内文が届いています。

### ■支給対象者

平成27年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受ける人（戦没者の妻や父母等）がいない場合に、以下の順番で順位が先になるご遺族お一人に支給されます。

#### 支給対象者は、戦没者等の死亡当時のご遺族で

1. 平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人
2. 戦没者等の子
3. 戦没者等の①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹  
※戦没者等の死亡当時、生計関係があったことなどの要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。
4. 上記1から3以外の戦没者等の三親等内の親族（おい、めいなど）  
※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係があった人に限ります。

### ■支給内容

国債名称 第十回特別弔慰金国庫債券 い号  
額 面 25万円（5年償還）



### ■請求窓口

三戸町役場 住民福祉課 戸籍班 ☎ 20-1151

## 役場まちづくり推進課からのお知らせ



### 「11ぴきのねこ」 どんどん活用してください！

三戸町では、町出身の漫画家である馬場のぼるさんが生み出したキャラクター『11ぴきのねこ』によるまちづくりを進めています。

著作権を管理している株式会社こぐま社の協力により、絵本に登場するキャラクターを下記の条件によって無償で使用することができます。お店のポップや装飾、スタッフジャンパー、Tシャツなどに、だんだんご活用ください。

#### ●キャラクター使用に関する主な条件

1. 役場まちづくり推進課へ申請書を提出する
2. 役場とこぐま社の審査を受ける
3. 出来上がったものを3点役場へ提出する
4. 申込期限 平成30年3月31日

#### ●キャラクター使用した商品開発の場合

著作権使用料が発生しますので、こぐま社との相談が必要です。まちづくり推進課へご連絡ください。

**【問い合わせ先】** 三戸町役場まちづくり推進課  
☎ 20-1117

# 大切な **税** のお知らせ

問 三戸町役場 税務課  
☎ 20-1118



## 給与支払報告書の提出をお願いします

平成29年中に給与・賃金などを支払った人は、受給者の住民登録地の市町村に給与支払報告書を提出することとなっています。期限内の提出をお願いします。

なお、給与支払報告書には法人番号および個人番号(マイナンバー)の記入が必要ですので、記入漏れのないようお願いいたします。

■提出期限 1月31日(水)

■提出先 平成30年1月1日現在の住民登録地が

- ①町内の人… 三戸町役場税務課
- ②町外の人… それぞれの市区町村

### ■注意点

- ・個人、法人は問いません。個人が家族に支払った給与についても同様です。
- ・金額の多少、年末調整の有無にかかわらず、全ての給与などについて報告が必要です。
- ・個人事業主は、報告書を提出する際に、事業主のマイナンバー確認書類と本人確認書類の提示(または写しの添付)が必要です。
- ・扶養親族および控除対象配偶者についても、マイナンバーの記入が必要です。
- ・中途退職者についても、退職年月日を記入の上、提出してください。
- ・所得税の源泉徴収義務がある事業主は、対象従業員の給与支払報告書を「特別徴収」として提出してください。

## 便利な振替納税をしましょう

町税は口座振替(通帳自動引落し)ができます。ご希望の人は役場税務課、または各金融機関窓口へお問い合わせください。(通帳とお届けの印鑑が必要です)

今年度から、青森銀行、みちのく銀行、青森県信用組合、八戸農業協同組合のほか、ゆうちょ銀行等(東北のみ)でも納税できますのでご利用ください。

## 町税未納者へ電話で納付の呼びかけをします

三戸町は、青森県が開設した「青森県市町村税納付コールセンター」に県内13市町村と合同で参加しています。

町税の納期限が過ぎても納付の確認が取れない人へ、コールセンターのオペレーターが電話で納付の呼びかけを行います。

【不審な電話にご注意ください】

コールセンターでは、必ず「青森県市町村税コールセンター〇〇です」と名乗り、納期限が過ぎていることをお知らせします。不審な電話などがありましたら、三戸町税務課までご連絡ください。

■青森県市町村税納付コールセンター ☎ 0120-01-7670

## 取り壊し家屋の届け出

町内に所有する家屋(居宅、小屋など)を取り壊した場合は、取り壊しの届け出をする必要があります。

取り壊しをされた所有者は、三戸町役場税務課へ届け出をお願いいたします。

- ・届け出をしていない取り壊し家屋全てが対象になります。(登記のある家屋で、すでに滅失登記されている場合は提出の必要はありません)
- ・届け出の用紙は役場税務課にありますので、印鑑をご持参ください。
- ・代理の方が届け出をすることもできます。



## 納税相談・収納業務の時間延長

■日時 12月25日(月)～12月28日(木)  
午後5時～午後7時

■場所 三戸町役場1階 税務課

12月25日(月)は町県民税4期と国民健康保険税6期の納期限です。

## 償却資産(固定資産税)申告書の提出

法人や個人で事業を行っている方で、三戸町内に事業に用いる資産(機械や備品など)を所有されている方は、毎年1月1日現在の資産状況について申告していただく必要があります。平成30年1月31日(水)までに提出いただきますようお願いいたします。

## 八戸税務署からのお知らせ

### 確定申告書の作成会場開設

問 八戸税務署 ☎ 0178-43-0141

■開設日時 2月16日(金)～3月15日(木)  
9時15分～16時 ※土日祝日は除く

■場所 八戸商工会館3階ホール

※駐車場がないため、公共交通機関をご利用ください。

会場は大変混雑し、申告書の作成に1時間以上要する場合があります。会場を利用される際には、開設時間内に申告書を作成できるよう、15時前の来場にご協力ください。

10/13～15 三高チャレンジショップ

## 経営を実践的に学ぶ

三戸高校ビジネス・マネジメントコースの3年生20人が八日町の空き店舗を活用し、「チャレンジショップ」を出店しました。

5つの班に分かれて、仕入れや販売を実践的に学びました。

むらさきいもタルトなどを販売していた中山琴絵さんは「お客さん呼び込み、売れ残りが出ないように販売することは難しいです。商品を買ってくれたお客さんが、おいしかったよと言ってくれたことがとてもうれしかったです」と話しました。

店頭で呼び込みをしていた中里周平くんは「仕入れ先の人と電話でやり取りするのが難しかったです。商品の説明を聞いて買ってもらえるととてもうれしいです」と話しました。



10/22 ママ・パパフェスタ 2017

## 親子で楽しめる企画がたくさん

NPO 法人子育て支援ネットゆりかごが、地域で子育てを応援しようと「ママ・パパフェスタ 2017」をアップルドームで開催しました。

会場には、親子で楽しめる工作や、ママが疲れを癒せるマッサージ、町内の保育園児や幼稚園児による、かわいらしいダンスのステージ発表など、多くの楽しいコーナーが設置され、500人以上が会場を訪れました。

いずみ幼稚園の武士澤煌ちゃん(5才)は音の出るおもちゃで遊び「いろいろな音が出て楽しかった」と話しました。

工藤みなみさん(三戸学園三戸小3年)は「サッカーボウリングをやって、思いっきりボールをキックして楽しかった」と笑顔で話しました。

11/3～5 三戸町総合文化祭

## 芸術の秋を楽しむ

町民体育館とジョイワーク三戸で三戸町文化協会(上野悦嗣会長)主催の第49回三戸町総合文化祭が開催されました。写真や生け花、凧などの作品展示のほか、5日には舞踊や詩吟などの芸能発表が行われました。

生け花のコーナーを見ていた水梨怜香さん(三戸高校1年)は「華道は流派によってさまざまでおもしろい。自分も華道をやっているの、いつか作品を展示してもらえるように頑張りたいです」と話しました。



## 10/18 道尻さん、地方教育行政功労者表彰

### 教育行政に貢献



道尻増治さん（74歳）が文部科学省から平成29年度地方教育行政功労者として表彰されたことを松尾和彦町長に報告しました。

道尻さんは、小中一貫三戸学園の建設や施設の大規模改修を推進するなど、学力の確実な定着を支える学習環境づくりなどに大きく貢献したことが評価されました。

道尻さんは「国の動きを早く察知して、すばやく行動することが大事です。表彰は、周囲の皆さんの協力のおかげです」と感謝の言葉を述べました。

## 10/26 三戸町社会福祉大会

### 心の通い合う福祉のまちづくりを

三戸町社会福祉協議会は、地域福祉の一層の充実を図ろうと、第46回三戸町社会福祉大会を三戸町民体育館で開催しました。種差少年自然の家指導課長の小崎官一さんを講師に招き講演が行われたほか、町内の児童生徒による福祉の意見発表や福祉に貢献した人や団体の表彰が行われました。

●表彰者・団体（敬称略）

【社会福祉事業協助者】 武士澤 弘美、奥山 友彦、西野 美貴子、船場 せつ、一戸 恵子

【福祉活動協力援助者】 工藤 りゑ、三戸町社交ダンス愛好会、箸木山町内会リサイクル



## 10/28 三戸町まちづくり人財塾公開講座

### 固定観念を見直そう！

三戸町まちづくり人財塾公開講座がジョイワーク三戸で開催され、町内外の約80人が受講しました。講座は2部構成で行われ、第1部では、早稲田大学名誉教授である北川正恭氏を講師に迎え「三戸町のこれまでの固定観念（ドミナントロジック）を見直そう」～話し合いによる気づきの連鎖～と題し講演が行われました。第2部では、「対話で創る三戸町の地方創生」をテーマに、青森中央学院大学准教授の佐藤淳氏をコーディネーターに北川氏と松尾町長の対談が行われました。

北川氏は「ワークショップのような自由な話をする場所は必要です。みんなでやっという雰囲気が出せると町は変わっていくと思います」と激励しました。

松尾町長は「町民としっかり対話し、説得ではなく納得してもらえるようにしたい。三戸町も周辺地域も元気づいていけばよいと思う」と話しました。



## 11/6 八戸法人会三戸支部が手指消毒を寄贈

### 子どもたちの風邪予防に一役

八戸法人会三戸支部（松尾彰平支部長）が、町内の小中学校に手指消毒剤35本を寄贈しました。消毒剤の寄贈はことしで6年目となります。

石亀和郎副支部長は「インフルエンザが流行する時期が近づいているので、予防に活用してください」と、友田博文教育長に消毒剤を手渡しました。

友田教育長は「子どもたちは、風邪予防をしっかりして、楽しい学校生活を送れると思います」と感謝の言葉を述べました。



# 三戸町財政状況

平成 29 年 4 月から 9 月までの町の財成状況をお知らせします。

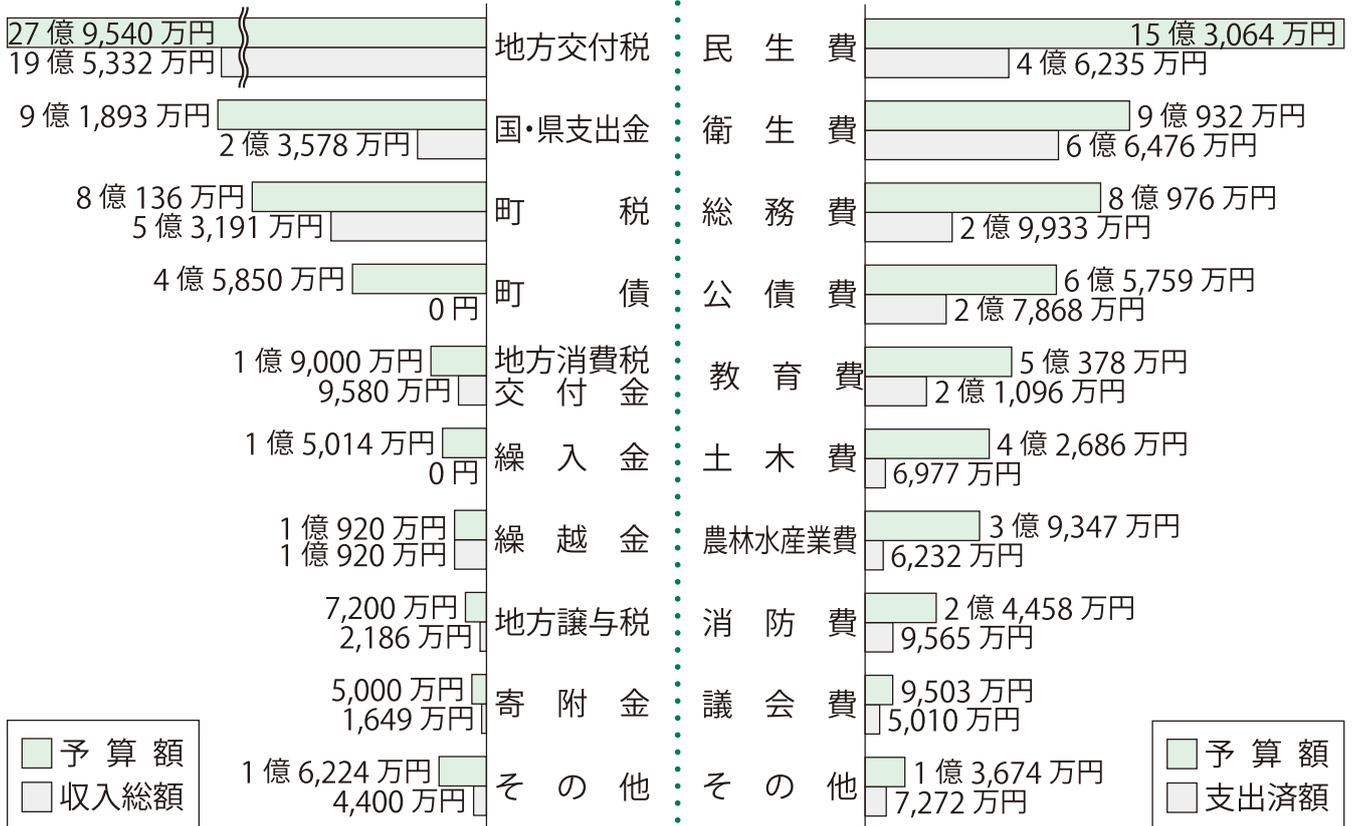
## 一般会計予算額と執行割合 (一般会計：行政運営の基本的な経費を網羅して計上した会計)

**歳入**  
収入割合 52.7%

予算額 57 億 777 万円  
収入済額 30 億 836 万円

**歳出**  
支出割合 39.7%

予算額 57 億 777 万円  
支出済額 22 億 6,664 万円



■ 予算額  
■ 収入総額

■ 予算額  
■ 支出済額

## 特別会計予算額と執行割合

(特別会計：特定の事業を行う場合に、一般会計と区分する必要がある会計)

会計名	予算額	収入済額	支出済額
介護保険	18 億 4,477 万円	7 億 9,524 万円 (43.1%)	7 億 2,151 万円 (39.1%)
国保	18 億 2,178 万円	6 億 8,458 万円 (37.6%)	7 億 3,426 万円 (40.3%)
下水道	2 億 6,352 万円	2,205 万円 (8.4%)	8,824 万円 (33.5%)
後期高齢者	1 億 1,930 万円	3,647 万円 (30.6%)	3,953 万円 (33.1%)
簡易水道	4,866 万円	506 万円 (10.4%)	972 万円 (20.0%)
学校給食	4,108 万円	1,784 万円 (43.4%)	1,545 万円 (37.6%)

会計名	予算額	収益的収入済額	収益的支出済額
三戸中央病院	(収入) 16 億 8,933 万円 (支出) 17 億 3,537 万円	9 億 5,145 万円 (56.3%)	7 億 7,531 万円 (44.7%)

## 町債残高

(町債：特に大きな事業を行うために必要な借入金)

会計名	金額
一般会計	69 億 2,992 万円
三戸中央病院	27 億 2,153 万円
下水道	22 億 4,646 万円
簡易水道	1 億 1,526 万円
合計	120 億 1,317 万円

## 一時借入金残高

会計名	金額
三戸中央病院	2 億円

## 基金残高

(基金：特定の目的のために積み立てた資産)

基金名	金額
財政調整基金	5 億 4,747 万円
減債基金	5 億 5,356 万円
その他基金 (定額運用基金を除く)	4 億 3,236 万円
合計	15 億 3,339 万円

# 1

# 月

# 行事予定表



日	月	火	水	木	金	土
	<b>1</b> ・元旦 ・元旦マラソン			<b>4</b>	<b>5</b> ・三戸町新年会	
<b>7</b> ・三戸町成人式	<b>8</b> ・成人の日 ・三戸町消防団出初式		<b>10</b> ・心配ごと相談(ふくじゅそう 13時~15時)	<b>11</b> ・4か月児健康相談(保健センター 受付 13時~)		<b>13</b> ・交通安全もちつき会(斗川児)
	<b>15</b> ・3学期始業式(三戸小中・斗川小・杉沢小中・三戸高)		<b>17</b> ・行政相談(ふくじゅそう 13時~15時)	<b>18</b> ・3学期始業式(いずみ幼)		<b>20</b> ・歴史講座(図書館 14時~16時)
	<b>22</b> ・3学期始業式(紫苑幼) ・心配ごと相談(ふくじゅそう 13時~15時) ・認知症専門相談(保健センター 10~12時, 13時~15時)		 三戸町民親睦町長杯パークゴルフ大会		<b>26</b> ・絵本プレゼント(ふくじゅそう 10時~11時30分)	<b>27</b> ・おはなしのへや(図書館14時~) ・交通安全もちつき会(中央保)
 三戸町民親睦町長杯パークゴルフ大会		<b>30</b> ・心配ごと相談(ふくじゅそう 13時~15時)	<b>31</b> ・2歳児歯科健診(保健センター 受付 10時15分~) ・国民健康保険税7期	<b>2/1</b>	<b>2</b>	

## 平成28年度三戸町学校保健会 入選標語 ※学年は昨年度のものです。

- きこえてる? ゲームばかり みみないよ (三戸小1年 工藤 由奈)
- あいさつは 大きな声で 自分から (三戸小4年 本庄 由佳)
- かぜ予防 手洗い・うがいで 丈夫な体 (三戸中3年 齊藤 碧)

# 図書館 だより

開館時間 10:00～18:00  
☎22-1731 FAX 22-1606

## 移動図書館車「本じい」の今月のつばき

12月23日(土)のおはなしのへやは「光の実験室」。ブラックライトを使った実験をします。宝探しゲームもします。16時30分から。入場無料。どなたでもどうぞ!



## 今月の新刊

小説・エッセイ	作者	出版社
出世侍	千野 隆司	幻冬舎
ソロ SOLO	笹本 稜平	祥伝社
だま 騙し絵の牙	塩田 武士	KADOKAWA
ノンフィクションほか		
いのち愛しむ、人生キッチン 92歳の現役料理家・タミ先生のみつけた幸福術	桧山 タミ	文藝春秋
面白くて仕事に役立つ数学	柳谷 晃	SBクリエイティブ
日本の古寺101選 宗派別に特長と楽しみ方がわかる!	廣澤 隆之	成美堂出版
児童書		
ええたま いっちょう!	くすのきしげのり	岩崎書店
四人のおばあちゃん	ダイアナ・ウィン・ジョーンズ	小学館

## 12月のスケジュール

- 20日(水) 短歌会
- 23日(土) おはなしのへや
- 休館日：毎週月曜日
- 図書整理休館日：28日(木)
- 年末年始休館日  
12月28日(木)～1月3日(水)

## 学びのススメ

### 歴史講座

- 日時 12月16日(土)  
14時～16時
- 場所 図書館2階 視聴覚室
- テーマ 会津藩祖「保科正行」
- 講師 大庭 紀元さん
- ※申し込み・参加料はいりません。

## 一般書

### 弟は僕のヒーロー

ジャコモ・マツツアリオール (小学館)



僕は5歳のとき、パパとママから弟が生まれると聞かされ、大喜びした。しかも、どうやら弟は「特別」らしい。僕はスーパーヒーローを思い描き、一緒に闘いごっこをすることを想像した。だけど、実際はちょっと違っていた。そして僕はだんだん「特別」の意味を知る…。

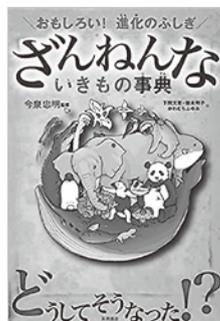
僕の弟はダウン症でした。世界30万人が泣いた、たった5分の映像から生まれた奇跡の本です。



## 児童書

### ぞんねんないきもの事典 おもしろい! 進化のふしぎ

今泉 忠明 (高橋書店)



“ちょっとぞんねんに感じてしまう、けれども一生懸命生きている” そんな今までにない視点から見た生き物たちを紹介しています。

笑えるものから、「へえ」とためになるものまで新たな一面を発見することができるユニークな一冊です。

# のぼたん広場

子育てを  
応援！

のぼたんアイドル



ゆうせい  
中堤 結星 くん  
(7カ月)

のぼたん広場では、子育て家庭の親子の交流と仲間づくり、相談対応や子育てに関する情報提供、また講習など子育て支援を行っています。

ゆりかごのスタッフがわらべうた遊びや歌の紹介、絵本の読み聞かせなど対応します。どうぞ、親子で気軽においでください。

○開設時間：月曜日～日曜日 8:15～16:45

月～金の9:00～15:00は、ゆりかごのスタッフが対応します！

○場 所：ふくじゅそう1階 のぼたん広場

ゆりかごスタッフ  
おすすめです♪

## 12月のスケジュール

### <おやこ交流 ひよこコース>

毎週木曜日 10時30分～12時

対象：0歳からつかまり立ちまでのお子さんを持つ親子

### <おやこ交流 パンダコース>

毎週火曜日 10時30分～12時

対象：ひよこコース以上のお子さんを持つ親子

### <おやこ交流 フリーコース>

毎週水曜日 10時30分～12時

13日(水) クリスマスおたのしみ会  
おしゃべりサロン・マタニティのママ体験  
うたって遊ぼう！

対象：就園前のお子さんを持つ親子

### <おやこの広場>

9日(土)・17日(日) 9時～14時

☆ゆりかごのスタッフが対応します！

※12月29日(金)～1月3日(水)まで  
ふくじゅそうは閉館となります。

<問い合わせ先>

NPO法人子育て支援ネットゆりかご ☎ 20-0070

## のぼたん文庫 おすすめ本

「おやすみなさい おつきさま」

「おやすみなさい」とくりかえし語りかけながら、ゆったりとした時間が流れます。

「おやすみ」の時におすすめの絵本です。

○のぼたん文庫では、絵本の貸し出しをしています(一人3冊・2週間まで)。どうぞご利用ください。



## お知らせ

### 「クリスマスおたのしみ会」

おしゃべりサロン & うたって遊ぼう！

日 時 12月13日(水) 10時30分～12時

場 所 ふくじゅそう 1階 のぼたん広場

参加費 1人200円

(おやつのない人は参加費不要)

※準備の都合上、締切後の返金はい  
たしかねます。予めご了承ください。

申込締切 12月8日(金)

## 文化財さんぽ No.16 青銅擬宝珠

せいどうぎぼし



この擬宝珠は、黄金橋の欄干(手すり部分)に飾られていたものと伝えられています。擬宝珠に刻まれている文字から、南部27代利直が世を治めていた元和9年(1623)5月に、造られたことが分かっています。

実は、岩手県盛岡市の中津川に架かる上ノ橋と下ノ橋の欄干に付く擬宝珠は、黄金橋に付いていた擬宝珠を取り外して溶かし、造られたものだといわれています。文献によると、取り外したのは盛岡城下建設の慶長年間であり、擬宝珠が取り外された黄金橋には、代わりに鉄の擬宝珠を取り付けていたとされます。その後、盛岡城が洪水の被害にあい、修復される期間、当主の利直は三戸城を居城としますが、この時、当擬宝珠は新しく鑄造されたものと考えられます。

この擬宝珠は、黄金橋の歴史を知る上で大変貴重な資料であることから、青森県の重要文化財に指定されています。

■青森県重要文化財(指定年月日:昭和47年3月15日)

■高さ:60.6cm ■外径:25cm ■所有:三戸町



- パソコンクラフトサークル  
毎週火曜※12日除く(19時~20時30分)  
会場：ジョイワーク三戸  
クラブ会員限定、受講無料
- パソコン教室(会員問わず個別指導)  
毎週金曜※29日除く(18時~20時)  
会場：ジョイワーク三戸  
料金：30分500円(会員以外750円)  
※1時間の場合、料金2倍

種 目	日 時	場 所
ラージボール卓球	毎週月曜、毎週木曜※7日除く(10時30分~12時)	ジョイワーク三戸
ラージ&卓球	毎週水曜、毎週金曜※6日、29日除く(19時30分~21時)	
卓球フォローアップ教室 (中学生対象) 会員月額1,500円、会員以外3,000円	毎週月曜(18時30分~20時30分) ※25日(17時~19時)	
ヒップホップダンス教室 会員月額1,000円、会員以外2,000円	毎週火曜※5日、12日除く(19時~20時30分)	
ストレッチ教室	16日(10時30分~12時)	ふくじゅそう
ヨガ教室	10日(10時30分~12時)	
貯筋体力づくり教室	毎週水曜※27日除く(10時30分~12時)	町民体育館
バスケットボール	毎週水曜※20日除く(16時15分~17時45分)	
ネオホッケー	毎週木曜※28日除く(18時30分~21時)	アップルドーム
バドミントン	毎週土曜※23日、30日除く(19時~20時30分)	

※「教室」は参加料が必要(クラブ会員500円、一般1,000円)

### お知らせ

### クラブ会員募集中

クラブ会員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

見学も大歓迎です。興味がある人は、ぜひお越しください。



### スポーツ以外の指導者も募集中!

料理・手芸・伝統舞踊・英会話・レクダ  
ンスなどの指導をしていただける人を募集  
中です。

あなたの特技を生かして、ぜひたくさん  
の人に伝えてみませんか?



### 問い 合わせ先

さんのお楽しみスポーツクラブEnjoyクラブハウス(ジョイワーク三戸内)

TEL・FAX 22-2503

HPアドレス <http://ssce.web.fc2.com/index.html>

Eメール [s.sports-club.enjoy@bell.ocn.ne.jp](mailto:s.sports-club.enjoy@bell.ocn.ne.jp)

会員募集中

スポーツクラブ



私たちはスポーツ振興くじ  
助成を受けています。

## まちの楽校だより

### 12月達人・イベントスケジュール

2日	土	・おし花(中村陵子)
4日	月	・手芸教室(本間宏子)
6日	水	・コーヒー教室(梅田佐都子)
8日	金	・串もち、豆腐田楽(サンフレッシュ) ・行政相談(佐藤幸夫) ・ほうき・竹かご(貝守林友会)
9日	土	・かっさ療法(ビエルバ) ・白籠子炒・姓名判断(村井要永)
11日	月	・手芸教室(本間宏子) ・茶道・華道(細野眞智子) ・パワーストーン(山本)
16日	土	・木工(千葉重雄) ・しな絵描き(G.O ドリンカー)
18日	月	・100縁勝店街 ・串もち、豆腐田楽(サンフレッシュ) ・十割そば(佐藤幸夫) ・個性心理学(米内口智己子) ・ほうき、竹かご(貝守林友会) ・行政相談出前講座(総務省 青森事務局)
25日	月	・茶道・華道(細野眞智子) ・手芸教室(本間宏子)
28日	木	・串もち、豆腐田楽(サンフレッシュ) ・ほうき、竹かご(貝守林友会)

### 囲碁開催日

どなたでも大歓迎です。囲碁で頭の体操、友達づ  
くりをしましょう!

■日時 7日(大会)、14日、21日、27日  
9時30分~15時



### コーヒー教室

- おいしいコーヒーのいれ方を伝授します。
- 興味がある人はお問い合わせください。

■講師 梅田 佐都子



### 第75回100縁勝店街スタンプラリー

お米が当たる!くじ引き抽選会を開催します!  
ぜひ遊びにきてください。

■日時 18日10時~

【まちの楽校】 ☎ 23-5415 FAX: 23-0118  
ホームページ <http://38machigaku.who.no.com/>



達人工房開催時間: 10時~15時  
12月の休校日: 3日、23日、24日

# 情報 掲示板

## 消防

### 暖房機器の取り扱いに注意！

☎ 三戸消防署 ☎ 22-1140

寒さが厳しくなると、石油暖房機器を原因とした火災・事故が多く発生します。次のことに注意して、寒い冬を暖かく、安全に過ごしましょう。

#### ■石油暖房機器を使う時の注意点

- ・暖房機器の上に洗濯物を干さない
- ・周囲に燃えやすい物や、スプレー缶を置かない
- ・暖房機器からの異臭に注意
- ・定期的に換気を行う

#### ■給油する時の注意点

- ・火を消してから行う
- ・古い燃料は使わない



### 住宅用火災警報器の設置と維持管理について

住宅用火災警報器の設置は、新築住宅については平成18年6月1日から、既存住宅については平成20年6月2日から義務化されています。

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。

電池切れの場合は、適切に電池を交換する必要があるほか、設置から10年以上経過している場合は本体内部の電子部品の劣化が考えられるため本体を交換することが望ましいとされています。10年を目安に交換しましょう！

また、みなさんのお宅だけでなく、離れて暮らす大好きなおじいちゃん、おばあちゃん、ご近所のお年寄りだけの家庭にもぜひ声をかけてください。

## お願い

### ミツバチの「飼育届」を提出してください

☎ 三八地域県民局 畜産課 ☎ 0178-27-5111

ミツバチを飼育している人は、1月1日現在の状況について、飼育届を提出してください。趣味で飼育する人も提出が必要です。花粉交配用にのみ、一時的に飼育する場合は届出は必要ありませんが、長期間にわたり飼育する場合は届出が必要です。

詳しくは青森県ホームページ「蜜蜂飼育届出の義務について」をご覧ください。

■提出締切 1月31日(水)

■提出先 三八地域県民局

#### ■届出用紙の取得方法

①青森県ホームページでダウンロード

②県民局で受け取る

※昨年度提出者には、県民局から用紙を郵送



## 募集

### 元旦マラソン 2018

☎ 三戸町中央公民館 ☎ 22-2186

新年の幕開けに、マラソンでさわやかな汗を流しませんか？雑煮の振る舞いやお楽しみ抽選会もあります。ぜひ、参加してください！

※心臓疾患のある人や酒気を帯びた人、申し込みのない人は参加できません。

■日 時 1月1日(月) 9時スタート  
(受付は中央公民館で8時から)

■参加料 一人300円(傷害保険料含む)

■部 門 1.5km、3km

■申込方法 12月18日(月)までに参加料を添えて、中央公民館へ申し込みください。

## お知らせ

### 平成30年三戸町成人式

☎ 三戸町中央公民館 ☎ 22-2186

三戸町に住所がある人と町内中学校出身者には、案内を送付しています。届いていない場合は、お問い合わせください。

■日 時 1月7日(日) 13時から

■場 所 町民体育館

■対象者 平成9年4月2日～

平成10年4月1日生まれの人

## ごみ

### 生ごみ・食品ロス減量のために 3つの「きる」がポイント

☎ 青森県 環境政策課 ☎ 017-734-9249

12月から1月の2カ月間は「もったいない！料理は食べきる強化月間」を実施します。

生ごみや、まだ食べられるものを捨ててしまう「食品ロス」を減らすために、日々の食生活を見直し、できることに取り組みましょう。

#### ■食材を使いきる

①食材は必要な分だけ買う

・買い物前に冷蔵庫の中身をチェック

・買い物メモを作って出かけ、不要な買い物を控える

②食材はムダなく使う

・野菜を切る時、捨てる部分を少なくする

#### ■作った料理は食べきる

①残さず食べる

・作りすぎないように、適切な量を作る

②作り置きできる料理は毎日少しずつ食べ、時にアレンジする

・残さずおいしく食べる

・残ったらアレンジして違う料理にする

#### ■ごみに出すときは水気をきる

①三角コーナーや水きりネットを使う

・きちんと水気をしばってごみの重量を減らす(生ごみの重さのうち、8割は水分)

②野菜や果物のくずや皮は乾かしてからごみに出す

・新聞紙にのせて室外の風通しのよいところに置く

③たい肥化容器の利用を考える

・家庭菜園がある人は、生ごみをたい肥にする



# 情報掲示板

## 募集

### 放送大学 4 月生募集

☎ 八戸サテライトスペース ☎ 0178-70-1663  
放送大学青森学習センター ☎ 0172-38-0500

放送大学は、テレビやインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、幅広い分野を学べます。資料を無料で差し上げていますので、ご連絡ください。

■出願締切 3月20日(火)

## 募集

### 海上自衛隊八戸航空基地 平成30年度防衛・基地モニター募集

海上自衛隊八戸航空基地では、八戸市及び近隣市町村の住民を対象に「防衛モニター」と「基地モニター」を募集しています。モニターは、ご意見・ご要望を伺い、自衛隊をより理解していただくとともに、今後の自衛隊の諸施策に反映させていただくために実施しています。

#### ■応募資格

- ①防衛モニター  
公務員以外の職業に就かれている40歳～49歳までの男性2人
  - ②基地モニター  
公務員以外の職業に就かれている人、主婦および学生で20歳～59歳までの男女5人
- ※両モニターともに防衛問題および自衛隊に関心のある人を歓迎しています。

#### ■応募方法

希望のモニター名、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号を明記し、官製はがき、メールまたはFAXで応募ください。

#### ■応募締切

平成30年1月11日(木)

#### ■応募先

〒039-1180 八戸市河原木字高館  
海上自衛隊第2航空司令部広報室  
電話：0178-28-3011(内線2331、2332)  
携帯：080-1853-6586  
FAX：0178-28-3302  
メール：2aw-kouhousitu@inet.msdf.mod.go.jp

## お願い

### 除雪作業にご協力を!

☎ 三戸町役場 建設課 ☎ 20-1154

#### 道路に雪を捨てないで

除雪車で寄せた雪や各家庭の雪を道路に押し出さないでください。

#### 深夜作業にご理解を

除排雪作業は、交通量の少ない夜間・早朝に行われますので、ご理解ください。

#### 通行規制にご協力を

迅速・安全に作業を進めるため、一時通行止めにする場合があります。

#### 路上駐車はやめよう

路上駐車は、除雪の妨げになります。

#### 作業中の除雪車には近寄らないで

雪に混じった石やガラスが飛び散る場合があります。30メートル以内に近寄らないでください。

#### 寄せ雪処理にご協力を

除雪車の構造上、多少の寄せ雪が残ってしまいます。各ご家庭やご近所で協力し合い、除雪して下さるよう、ご理解とご協力をお願いします。



## 支援

### 農業次世代人材投資資金(経営開始型)

☎ 三戸町役場 農林課 ☎ 20-1155

町では次世代を担う農業者となることを目指す人に対し、就農直後の経営確立を支援するため「農業次世代人材投資資金(経営開始型)」を交付します。

■交付金額 年間最大150万円、最長5年間

※2年目以降は、前年の所得により給付額が変動

#### ■支給対象者

農業を始めてから経営が安定するまでの人で、以下の要件を満たす人

- ①三戸町農業経営基盤強化促進基本構想に規定する青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者
- ②原則として45歳未満で、独立・自営就農する人
- ③三戸町人・農地プランに位置づけられている人(見込みも可)、または農地中間管理機構から農地を借り受けている人

#### ■独立・自営就農の要件

- ①農地の所有権もしくは利用権を有していること。  
※親族からの貸借が過半である場合は、交付期間中に所有権移転すること(貸借、利用権設定は農業委員会に相談すること)
- ②機械・施設を自らが所有または借りていること
- ③本人名義で生産物の出荷や生産資材の取引を行うこと
- ④経営収支を交付対象者の通帳と帳簿で管理すること
- ⑤自らが農業経営に関する主宰権を持っていること  
※自らが作成した青年等就農計画等に即して主体的に農業経営を行うこと。

#### ■注意点

・親元に就農しても、親元から独立した部門経営を行う場合や、5年以内に継承する場合は、その時点から対象となります。

・農家子弟の場合、新規参入者と同等の経営リスクを負うと認められる必要があります。

・夫婦ともに就農する場合は、夫婦あわせて1.5人分が交付されます。

※詳しくは、農林課までお問い合わせください。



## お願い

### 北朝鮮人権侵害問題啓発週間

☎ 三戸警察署 ☎ 22-1135

毎年12月10日から16日までは、北朝鮮人権侵害問題啓発週間です。北朝鮮による拉致問題については、これまでに13件(拉致された被害者は19人)発生しており、国民が関心と認識を深めていくことが大切です。

青森県でも拉致の疑いがある事案があり、捜査を推進しています。青森県警察本部のホームページ(<http://www.police.pref.aomori.jp/keibibu/gaiji/ratiyougi.html>)に、拉致の可能性を排除できない事案に係る5人の情報を掲載しています。

お願い

## 気を付けよう！油の流出事故

☎ 青森河川国道事務所 ☎ 017-734-4537

冬は家庭や事業所から灯油などが流れ出す事故が多発します。タンクの点検や補修を行い、除雪作業などによる破損事故にも十分注意しましょう。

※事故を起こした・発見した時は、役場や消防署、警察署などへ速やかにご連絡ください。

※油流出事故の原因者が、処理費用を負担します。

### ■事故を防ぐポイント

- ・ホームタンクやバルブの点検を行う
- ・油を取り扱う時は、その場を離れない。
- ・除雪や落雪で、ホームタンクや配管を破損しないよう注意



お知らせ

## 八戸圏域 8 市町村の図書館利用が便利になります！

☎ 三戸町立図書館 ☎ 22-1731

12月1日から八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）にお住まいの人は身分証のご提示のみでそれぞれの利用カードを作ることができます。

### ■利用方法

#### ①利用者登録

利用したい図書館で利用者登録を行ってください。免許証などの住所が確認できるものをお持ちください。

#### ②貸出手続き

図書館の利用はそれぞれの図書館の規則に従ってください。

#### ③図書の返却

図書の返却は、借りた図書館へ返却してください。それ以外の図書館へ返却することはできません。



相談

## くらしやお金に関する無料相談会

☎ 信用生協八戸事務所 ☎ 0120-102-084

専門スタッフや弁護士、保健師、社協相談員が、生活やお金に関する相談に無料で対応します。事前に電話で予約をしてください。

■日時 2月17日（土）10時～16時

■場所 消費者信用生活協同組合八戸事務所（八戸市八日町）

■相談内容 借金返済、相続、離婚、DV、介護問題、ひきこもり、依存症など

お願い

## 年末のくみ取り、ご相談ください

☎ 三戸地区衛生センター ☎ 0178-75-1449

12月はじめから年末にかけて、し尿、浄化槽汚泥の搬入量が非常に多くなります。

施設の安定した処理を維持するため、処理能力の範囲内で受け入れますので、この期間にくみ取りを予定している人は、お早めに業者にご相談ください。

イベント

## 道の駅&産直でお正月のお振る舞い

☎ 道の駅さんのへ ☎ 22-0600  
SAN・SUN産直ひろば ☎ 22-3266

新年の初売りイベントとして、すてきなお振る舞いを行います。皆さまのご来店をお待ちしています！

■日時 1月2日（火）9時から

■内容 ①道の駅さんのへ：おしるこ※数に限りあり  
②SAN・SUN産直ひろば：リンゴ、リンゴジュース、切り餅  
※先着100人、3日も実施



お知らせ

## 不妊専門相談センター事業について

☎ 八戸市保健所 健康づくり推進課 ☎ 0178-43-9271  
三戸町役場 健康推進課 ☎ 20-1152

八戸圏域連携中枢都市圏事業の一環として、八戸市が実施する不妊専門相談を利用することができます。

不妊専門相談では、不妊や不育症に悩む夫婦などに対し、不妊・不育に関する医学的・専門的な相談や心の悩みなどについて専門医が相談に応じ、治療に関する情報提供を行います。

### ■日時

日にち	時間
平成29年12月9日（土）	13時～14時
平成30年1月17日（水）	16時～17時
平成30年2月21日（水）	16時～17時
平成30年3月10日（土）	13時～14時

### ■申込方法

相談日の1週間前までに電話で申し込み（要予約）

### ■申込先

八戸市保健所 健康づくり推進課

詳しくは、八戸市保健所または町健康推進課のホームページをご覧ください。



編集ノート

ことしや残り残したことはあり  
ません。ことしも早いもので、  
残すところあと一ヶ月となりま  
した。年末はバタバタと忙しい  
と思いますが、皆さんいかがお  
過ごしでしょうか。  
私は、少し落ち着いたら、こ  
としを振り返りたいと思います。  
ことしも広報さんのへの作成  
にあたって多くの人に協力い  
ただきました。本当にありがとう  
ございました。来年もよろし  
くお願いします。

（明戸）



# 平成30年三戸町消防団出初式



日にち 平成30年1月8日(月・祝)

時間 10時30分～ 観閲・分列行進(八日町～二日町)  
正午～ 式典(三戸町民体育館)

はしご乗り



式典



女性団員



まとい振り



火災や災害などから地域を守る

消防団の勇姿をごらんください!



【お問い合わせ先】三戸町役場 総務課 防災班 ☎ 20-1119

広報さんのへ第676号 編集・発行 三戸町役場まちづくり推進課

青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43番地

TEL 0179(20)1111

FAX

0179(20)1102

この広報誌は再生紙を利用しています。



子どもたちの成長がやりがいです!

## キラキラスマイル

No.22



中平 愛さん(31歳)  
三戸保育園

### ☆自己紹介

長野県出身で、三戸町に来て4年目になります。

3月から三戸保育園で勤務しています。保育士だった母の影響で、保育士を目指すようになりました。

### ☆仕事内容

2歳児のクラスを担当しています。たくさんの子どもの成長していく姿を近くで見られることにやりがいを感じています。

### ☆仕事で心がけていること

子どもたちに負けないように、毎日元気よく、笑顔で過ごすようにしています。

### ☆挑戦したいこと

テニスなどのスポーツで体を動かし、汗を流したいです。

### ☆町の好きなおとこ

三戸町の方言が好きです。標準語よりも温かく感じます。人柄のよさもあって相手との距離が早く縮まるように感じます。

### ☆町に望むこと

私も2児の子を持つ親で、子育て中です。子どもたちのことを考えると、もっと医療面を充実させてほしいと思います。

### ☆町の人にメッセージ

子育て中のお母さんたちとともに頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願っています。